



本村幼稚園 7月の園だより

令和2年 7月 1日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

「大切にしたい三つの力」

園長 山村 登洋

幼稚園が6月より始まり1ヶ月が過ぎました。保護者の皆様に支えられ、またご協力いただきながら、無事に6月を終えることができました。心から感謝申し上げます。

いよいよ、本日から午前保育ではありますが、一斉登園となりました。今までは、りす組とはと組は1日の中で1時間程度しか一緒に過ごせませんでした。今日から同じ時間帯だけ一緒に過ごすことができるようになりました。



残念ながら、すぐはりす組、はと組と一緒に保育というわけにはいきません。しかし、りす組の子供たちにとってお兄さん、お姉さんとなるはと組の子供たちの存在は精神的にとっても大きいです。面倒をしっかり見ていこうとするはと組の子供たちとともりす組の存在は自分たちの励みになると思います。

2学期以降は新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、徐々に合同保育の取組も考えていきたいと思っています。



ところで幼稚園教育から小学校教育に移行(入学)するまでに「大切にしたい三つの力」というものがあります。ご存じですか。

「生活する力」「発見・考え・表現する力」「かかわる力」の三つを言います。もちろん、どれも大切ですが、「かかわる力」についてお話しさせていただきます。「かかわる力」の具体的な内容として

- ・あいさつする
- ・人とかかわる
- ・きまりや約束を守る

などがあります。これはどれも小学校入学のために必要なことに留まらず、これからの社会生活、大人になったときに最も重要なことではないでしょうか。

あいさつができない人物はそれだけでマイナスイメージがついてしまいます。きまり、約束が守ることができなければ、人との信頼関係は築けません。友だちのよさを見付け、認めていくことも人とのかかわりには大切です。人間は一人だけでは生きていけません。何かしら人とのかかわりをもって生活していきます。



本園では、この「かかわる力」を確実に身に付けさせていきたいと思っています。

ご興味がある保護者の皆様は港区発行の「みなときっずなび 家庭で大切にしたいこと ハンドブック」をご覧ください。